

シンポジウム「野口理論の可能性」特集号

はじめに

2003年9月27日、神田校舎6号館で社会科学研究所主催のシンポジウムが開催された。シンポジウムのテーマは「野口理論の可能性 その批判的継承をめざして」である。

野口眞所員の学的営みは周知のように間口が広くかつ奥行きが深く、経済理論、経済学説史から現状分析さらには中間理論までカバーし、各鋭意な業績が残されている。

学問に完成体はない。常に理論的難点を克服しながら発展させていくしかないのである。野口理論の主体を失ったわれわれにとって、野口所員の魅力に満ちた学的営みを発展させていくためには、野口所員の残された業績を徹底的に検証し、残されている問題点を剔出し、その克服の方向性を探っていくしかない。テーマに批判的継承を添えた所以である。

目 次

カレツキ・モデルの含意をめぐって	栗田 康之	2
「カレツキ=野口理論」の可能性 とその批判的継承	(秋田経済法科大学)	
野口眞氏の間接理論	横川 信治	22
野口・横川論争を中心に	(武蔵大学)	
「中間理論」の意義と課題	河村 哲二	41
野口眞氏の所説をめぐって	(武蔵大学)	
野口眞氏の東アジア経済研究	平川 均	65
	(名古屋大学大学院経済学研究科 附属国際経済動態研究センター)	